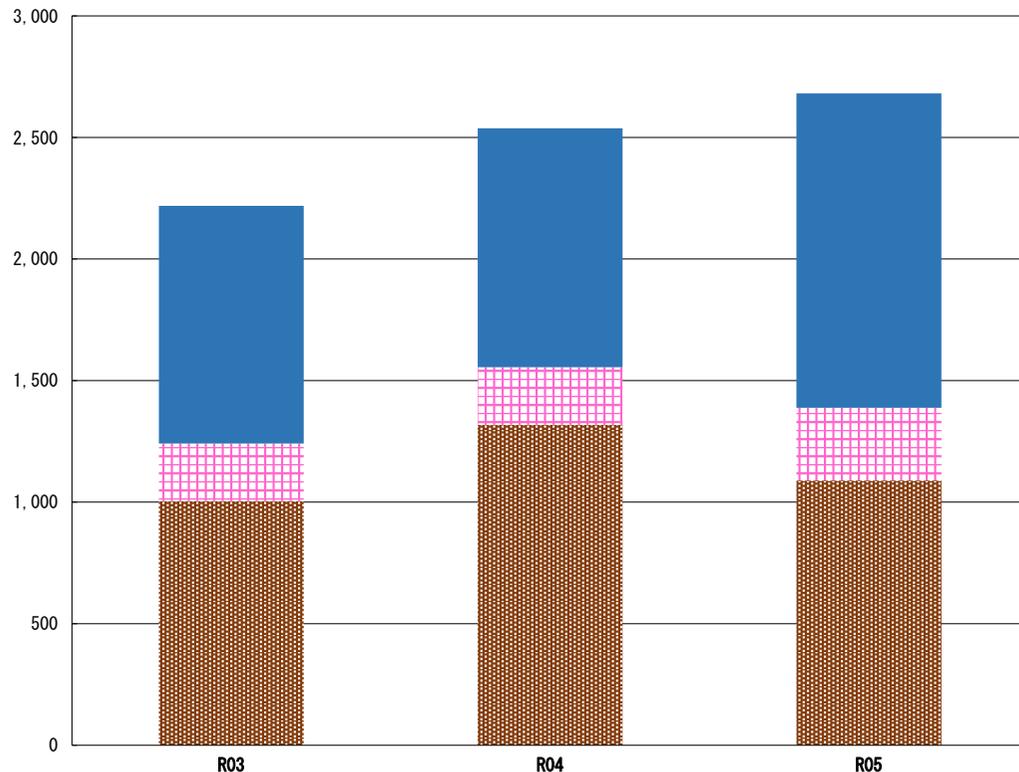


(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R03	R04	R05
財政調整基金		1,004	1,318	1,089
減債基金		237	237	299
その他特定目的基金		978	983	1,293
子ども教育振興基金		0	21	313
退職手当準備基金		174	194	243
公共施設整備費引当基金		144	203	216
ふるさと笠岡思民基金		354	262	215
藤井育英会奨学基金		68	68	68
基金残高合計		2,218	2,538	2,680

令和5年度

岡山県笠岡市

基金全体

(増減理由)

子ども教育振興基金へ280百万円の寄附を積み立てたことにより、基金全体での残高は前年度から142百万円増加した。しかしながら、財政調整基金の残高は物価高騰や障害福祉サービス等の扶助費の増の影響が大きく、前年度から減少しており、目標額である20億円から大きく離れている。

(今後の方針)

今後も物価高騰の影響は続くものと思われるため、ふるさと納税の推進等による自主財源の確保、事業見直しや業務の効率化による歳出の削減に積極的に取り組んでいくことで、財政調整基金を目標の20億円に近づける。

財政調整基金

(増減理由)

物価高騰の影響や障害福祉サービス等の扶助費の増が大きく、決算剰余等の積立額を取り崩し額が上回り、残高は229百万円減少した。

(今後の方針)

今後も物価高騰の影響は続くものと思われるため、目標額である20億円に到達すべく、これまで同様に決算剰余金の半分以上を財政調整基金へ積み立てるとともに、ふるさと納税の推進等による自主財源の確保、事業見直しや業務の効率化による歳出の削減に積極的に取り組んでいく。

減債基金

(増減理由)

令和6年度及び令和7年度における臨時財政対策債の元金償還の一部を償還するための基金の積立てに要する経費の財源が普通交付税で措置されたことに伴い、62百万円を積み立てたため、増加した。

(今後の方針)

令和3年度において令和3年度借入の臨時財政対策債の元金償還のために基金への積立を行っていることから、本年度に積み立てたものとともに、当該臨時財政対策債の償還に合わせて基金の取り崩しを行う。

その他特定目的基金

(基金の使途)

子ども教育振興基金：学校等の教育活動の充実を図る。
 退職手当準備基金：退職手当の平準化を図る。
 公共施設整備引当基金：公共施設の長寿命化や更新を計画的に行うことを目的とする。
 ふるさと笠岡思民基金：寄附金を財源として寄附者の思いを具体的に事業に生かし、笠岡市の活力ある福祉都市実現に資することを目的とする。
 藤井育英会奨学基金：基金を原資として奨学資金給付事業を行う。

(増減理由)

子ども教育振興基金へ280百万円の寄附を積み立てたことにより、残高は大幅に増加した。退職手当準備基金については、退職手当の支払いにおいて基準より事業費が低かったことにより、49百万円を積み立てたため、残高は増加した。ふるさと笠岡思民基金については、ふるさと納税による寄附額が伸び悩んでいることもあり、減少している。

(今後の方針)

ふるさと納税の推進により思民基金の増額に努めるとともに、将来の庁舎等の建替えに備え公共施設整備費引当基金への積立も継続して行っていく。